

解答編

1 病気の起こり方 (教科書 P.30～31)

◎病気はどのようにして起こるのでしょうか。

6年 組

名前 ()

☆いろいろな病気

みなさんはどんな病気を知っていますか。思いついた病気の名前を書いてみましょう。

(インフルエンザ) (おたふくかぜ) (心臓病) (むし歯)
 (食中毒) (が ん) (脳卒中) (歯周病)
 (肺 炎) (麻疹 (はしか)) (水痘 (みずぼうそう)) (風疹 (ふうしん))
 (手足口病) (溶連菌感染症 (ようれんきんかんせんしょう)) (花粉症) (結 核)



★ほかにもたくさんあります！

1 こ～4 こ書けた！ ★
 5 こ～8 こ書けた！ ★★
 9 こ～12 こ書けた！ ★★★
 12 こ～15 こ書けた！ ★★★★★

全て書けた人は博士ですね！

☆かぜをひいたとき

今までどんなときにかぜをひいていましたか。

例) 手洗いうがいをしないで生活していた。 換気をしない部屋でずっと過ごしていた。

夜ふかしをしてあまりねていなかった。 おかしを食べ過ぎてバランスのよい食事をしなかった。

かぜをひいたとき、こんなことはありませんでしたか？はいかいいえに○をつけてふりかえてみましょう。



周りにかぜをひいている人はいませんでしたか？

エアコンをつけっぱなしにしたり、寒い中で薄着のままでいたりしていませんか？

夜ふかしや食事の好き嫌い、規則正しい生活をしていましたか？

★ここは正直に○をつけてみてください。はいに○がつくところがあると思います。

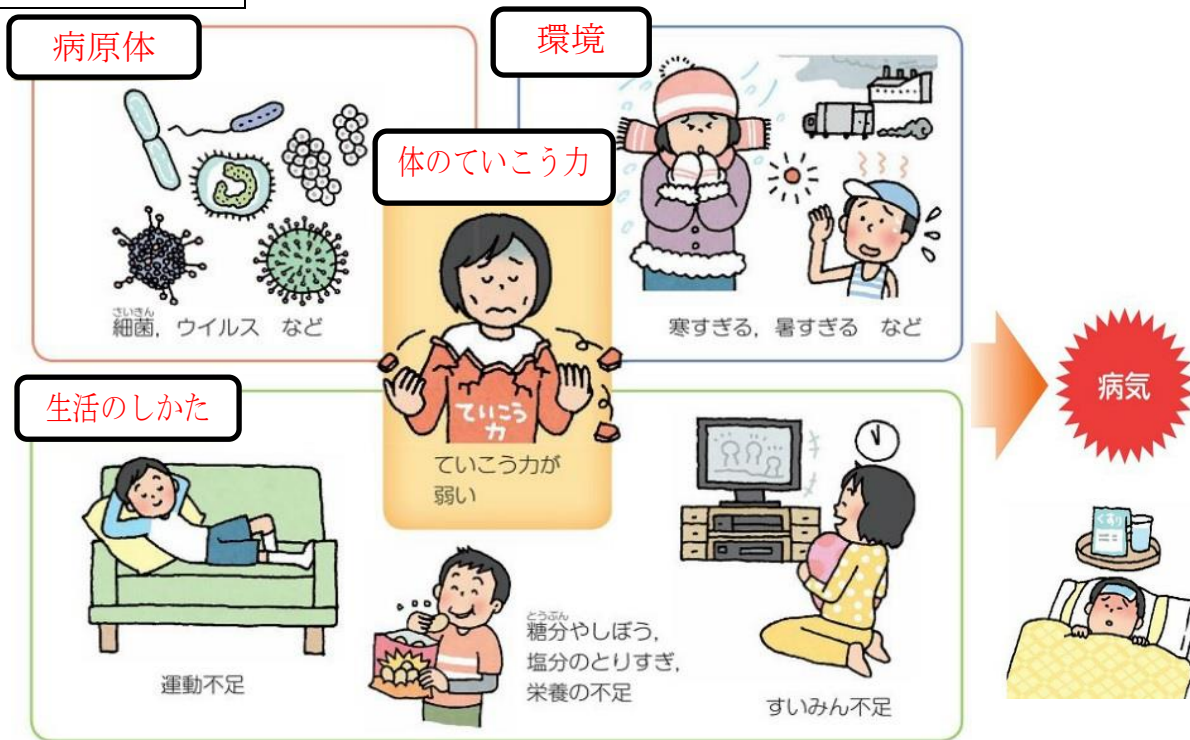
(はい ・ いいえ) (はい ・ いいえ) (はい ・ いいえ)

だんだんと病気の起こり方が分かってきたね。



※うらに続きます！

☆病気の起こり方 教科書 P.31 を参考にして言葉を書き込んでみましょう。



ポイント

病気は、(病原体)、(環境)、(生活のしかた)、体の (ていこう力) などがかかわり合って起こります。

○さまざまな病原体

病気の原因となる小さな生物を病原体といいます。病原体には、細菌やウイルスなどがあります。病気の中には、病原体が関係しないものもあります。

結核菌
(35ページを参照。)



(約7500倍)

コレラ菌



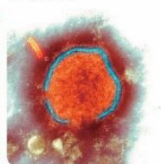
(約6000倍)

かぜのウイルスの一つ



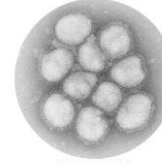
(約39000倍)

ましん(はしか)のウイルス



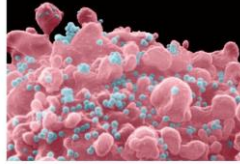
(約43000倍)

インフルエンザウイルス



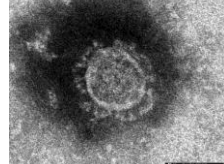
(約5万倍)

エイズを起こす HIV ウイルス



小さなつぶつぶが HIV (約9000倍)

新型コロナウイルス



かつよう

右の絵で、Nさんは、かぜをひきやすい状態にあります。病原体、環境、生活のしかた、ていこう力に着目して、かぜをひきやすい理由を説明してみましょう。

例) 人混みの中でせきをしている人が近くにいる病原体をすいこんでしまうかもしれない。

別例) 寒い環境にいることやすいみん不足でつかれていることで、体のていこう力が下がっている。 など



学習感想